

(様式1)

一般社団法人 太陽光発電協会 指定用紙	
整 理 番 号	
ソフトウェア以外の場合	■
ソフトウェアである場合	□

下記の黄色い枠にご入力ください

設備ユーザ様での「減価償却資産の種類」を確認のうえ、プルダウンメニューから選択。

プルダウンメニューから選択
1. 上で「建物付属設備」を選択した場合は、電気設備を選択してください。
2. 上で「機械及び装置」を選択した場合は、設備ユーザ様の業種を選択してください。

納入する太陽電池モジュールの型式を記入。

登記上の法人名又は個人事業者氏名を必ず記入(屋号は不可)

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等に係る生産性向上要件証明書

当該設備の概要	減 価 償 却 資 産 の 種 類		(選択して下さい)	
	設 備 の 種 類 又 は 細 目		(選択して下さい)	
	設 備 の 名 称	太陽電池モジュール		太陽電池モジュール
	設 備 型 式			
	本 社 名 ・ 事 業 所 名			
	法人番号 ※法人のみ			
	本社所在地			
	ユーザー連絡先 (会社名、担当部署、電話番号)		会社名 担当部署 電話番号	

○上記設備を前提とした場合における該当要件への当否

該 当 要 件	一定期間（注1）内に販売開始された製品であるか	①販売開始年度(西暦): 年度(注2) ②取得(予定)日を含む年度: 年度(注2) ② - ① = 年	1. 該当 2. 非該当	(選択して下さい)	
	「生産性向上」（旧モデル比生産性年平均1%以上向上）に該当するか (※)当該設備がソフトウェアである場合、または比較すべき旧モデルが全く無い新製品の場合には、記載不要。		1. 該当 2. 非該当	(選択して下さい)	
	該当要件への当否		1. 該当 2. 非該当	(選択して下さい)	

チェックリスト(様式2)で、要件に該当することを確認し、「該当」をプルダウンメニューから選択。

(注1) 一定期間は、機械装置：10年、工具：5年、器具・備品：6年、建物附属設備：14年、ソフトウェア：5年とする。
(注2) 年度とはその年の1月1日から12月31日までの期間をいう。

「該当要件」欄に記載されている事項について確認し、該当要件を満たしていることを証明します。

西暦 年 月 日

〒105-0004
東京都港区新橋二丁目12番17号
新橋I-Nビル8階

一般社団法人 太陽光発電協会

担当窓口:
連絡先(電話番号):
(任意)メールアドレス:

当該設備が上記該当要件を満たすものであることを証明します。

西暦

製造事業者等の名称

製造事業者等の所在地

代表者氏名: 印

担当者氏名:
所 属:
担当者連絡先(電話番号):

日付(※西暦)	
名称	
所在地	
代表者役職 代表者名	
担当者氏名 所属 電話番号	

※未入力の項目があります

すべての入力が完了していればこの表示が消えます。

※制度自体については、中小企業庁ホームページをご確認いただき、ご不明な点は、中小企業庁税制サポートセンターもしくは所轄

の税務署にお問い合わせください。中小企業庁ホームページ <https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/kougyoukai.html>

【チェックリスト】

		設備メーカ（製造事業者）記入欄	証明者 チェック欄	下記の黄色い枠に ご入力ください			
該 当 要 件	申請対象確認	太陽光発電の場合、様式1「減価償却資産の種類（セル：010）」が「機械及び装置」、「建物附属設備」のどちらに該当するか国税庁のHPなどで確認する。	設備の種類 又は細目		設備の種類又は細目 (選択して下さい)	様式1の選択に合わせて選択下さい。	
		細目確認の目安として設備容量を記入する。	設備容量		kW		設備容量(kW) (記入して下さい)
	販売開始要件の確認	当該設備の販売開始日が、取得日から一定期間に属する年度開始の日以後であること。	1. 該当 2. 非該当		(選択して下さい)	納入する太陽電池モジュールの販売開始年月が 納入日より一定期間以内であれば、該当を選択。	
			①販売開始年月（※1）：		販売開始年月： (※例：2017年1月)		納入する太陽電池モジュールの販売開始年月と 納入日（設備稼働日）を記入する。
			②取得等をする年月：		取得等をする(した)年月： (※例：2017年3月)		
	②-①が一定期間（※2）の要件内であること					下のチェックリストで生産性向上要件を確認し 1%/年の生産性向上を達成していれば該当 を選択。。	
	参考：上記の②-①=						
	生産性向上に該当するか	当該設備の一代前モデルと比較して年平均1%以上の生産性向上を達成している。 (※3) 比較すべき旧モデルが全くない場合には、記載不要。	1. 該当 2. 非該当		(選択して下さい)		※！比較指標の例：「変換効率の向上」「全損失低減」など
			<比較指標> (※)以下の1～3までのいずれかの指標で比較。				
			1. 単位時間当たり生産量	【 - 】	1. 単位時間当たり生産量 (左の欄は選択、右の欄には指標内容を記載して下さい)		
2. 歩留まり率			【 - 】	2. 歩留まり率 (左の欄は選択、右の欄には指標内容を記載して下さい)			
3. 投入コスト削減率			【 - 】	3. 投入コスト削減率 (左の欄は選択、右の欄には指標内容を記載して下さい)			
			※上記1.～3.で選択記載した指標内容が、一代前モデルに対し「低減」しているか「向上」しているか (右の欄より選択して下さい)				
<指標数値>							
○一代前モデル：			()	○一代前モデル： (※左の欄は数値のみ)			
(一代前の型式)			()	一代前モデルの型式を記載して下さい			
(販売開始年月)			()	一代前モデルの販売開始年月を記載して下さい			
○当該モデル：	()	○当該設備： (※左の欄は数値のみ)					
<生産性向上>							
年 平 均 ： %		年平均： (※自動計算されます)					
該当要件への当非		1. 該当 2. 非該当		(選択して下さい)	販売開始要件と生産性向上の要件の該当を確認し、該当を選択する。		

(※1) 販売開始年度はカタログや仕様書等で確認できる、合理的な時期とすること。
なお、年度とはその年の1月1日から12月31日までの期間をいう。
(※2) 一定期間は、機械装置：10年以内、工具：5年以内、器具備品：6年以内、建物附属設備：14年以内
(※3) 新製品であっても、同種の設備がある場合には比較すること。
比較する装置が全く無い場合は、類似商品が全くないことを事業経過等から明確に証明すること。
比較指標がなくとも、生産性等の仕様を示す資料は提出すること。

(自動計算)

(-) ÷ 年×100= %